

顯眞學報

第五號 特輯號

昭和六年七月發行

第一編 總說

阿彌陀經文類集は果して眞撰なりや……………梅原眞隆
 隋・唐代より明代に至るまでの小經釋概觀……………玉置韜晃
 阿彌陀經諸譯概觀……………辻本鐵夫
 襄陽の石經に就て……………玉置韜晃
 阿彌陀經を正依とする時宗の安心……………高千穂徹乘
 阿彌陀經の對告集……………遠藤輝雄

阿陀經研究號

定價 送料 八圓 錢圓

第二編 論義

極指彌准執臨諸一 樂方陀知名立莊 嚴相義顯號前誠結 經證現名隱名立莊
 第三編 雜纂
 荻藤枝昌隆 木下靖夫 山名演暢 藤原凌雪 大原性實 嵩尾教順 竹田豐三

顯眞學會

東京市賀茂板倉町一六
 顯眞學苑
 電話西陣四六八番
 振替內版七八五番

發行所

◆ 一 刊 新 最 一 ◆

龍谷大學圖書館編

佛敎學 關係雜誌論文分類目錄

(著者名索引、件名索引附)

菊判 五百八十頁
特製總クロース綴
定價 金 參 圓
送料 金二十錢

近年佛敎學の研究は實に長足の進歩を遂げたが、その進歩の蹤は、多くの場合、雜誌に發表されたる各種の論文において辿らねばならぬわけである。數多くの雜誌論文を整理分類せる目錄が、如何に斯學の研究に必要なかは、今更暇々するまでもない所で、會々本書の如き完全なる羅針盤を得たことは、寔に學界の至幸として慶賀に耐へないのである。本書は、明治初年より昭和五年末に亘り、二百數十種の雜誌より、佛敎に關係せる論文一萬六千餘目を選出して、これを各種の項目に分類按排し特に必要によりては、彼此の参照を設けて、關係事項の捜査に便にし、且附するに著者名、件名の索引、及び探録雜誌一覽表を以てせるもので、その詳細、その懇切、實に至れり盡せりの觀がある。而も價格の至廉なる斷じて他の追隨を許さざる所。敢て學者の必讀を奨むる所以である。

龍谷大學教授 杉 紫 朗 著 (修訂版)

西 鎮 敎 義 概 論

菊版クロース製

定價金貳圓貳拾錢

送料金十 四 錢

淨土敎内にありて西山、鎮西、眞宗等互に論難攻撃し合つたもの又は我田引水の爲の研究は多々存するけれども、三者を學的良心を以て公平に比較研究せしものは未だ見ない。著者の如き識見を以てして始めて成し得る所であり、淨土敎としての相互の特異性並に關係を知るに最も便なる書である。而も今回重版に際し全部に亘り嚴密なる修訂を加へ且つ値下を斷行して提供せるものである。

振替 五三八
内 一
版 番

龍谷大學出版部

京 西
都 六
市 條

發行所

大谷大學
圖書館藏

西藏大藏經甘殊爾勘同目錄

四 六 倍 版
假綴 全 三 卷

定 價
各卷 國內金四圓 送料十八錢
外國十五圓(七圓五拾錢) 送料共

一、昨年七月第一卷を刊行して、學界の異常なる注目を惹き稱讚を博したる本書は、こゝにその第二卷を公刊した。

一、本卷は般若、寶積、華嚴、及び諸經部の大半まで、殆んど主要大乘經典を盡してゐる。

(第一卷は Raynd 即ち Tantra 部——主として密教經典、陀羅尼、儀軌等)

一、本目錄は寺本教授將來の大谷大學圖書館所藏の康熙殿版赤字甘殊爾の目錄で、各經典の梵名、西藏名、譯名、翻譯者名を挙げ、對同する梵、巴の原本、漢譯經典を詳細に探索し、その分卷、分品、品名に至るまで對照記入し、更に西藏經版の異本たるナルタン、デリゲ兩版の所在葉數行數をも一々引用參照してある。

一、今や佛教學界は翕然として大乘佛教の研究に向つてゐるが、その資料は、先づ内容豊富にして、且つ梵語に親しき西藏經典に仰がざるを得ない。本目錄が佛教學者の坐右に必要缺く可らざるものである事は多言を要せずして明かであらう。

一、第三卷は今年末に刊行の豫定。

༄༅། བཀའ་འགྱུར་གྱི་དཀར་ཆག །

第 二 卷 出 づ

發 行 所 京 都 市 烏 丸 頭 大 谷 大 學 圖 書 館

振替大坂五七六七番(大谷大學出版部)